

京都府総合教育センターの研修講座

単位制履修制度の概要

京都府総合教育センターの研修については、「単位制履修制度」を採用しています。

1 趣旨

単位制履修制度は、教職員個々の意欲を大切にし、キャリアステージに応じた研修を計画的・継続的に受講できるようにすることを基本的な考え方としています。また、研修履歴を活用することで、今後の研修計画に生かし、計画的な人材育成につなげようとするものです。

2 単位数

- (1) 1 講座の受講をもって 1 単位履修を基本とする。
- (2) 国、京都府教育委員会、教育局、市町（組合）教育委員会の実施する研修の一部も 1～3 単位として認定する。

3 研修の分類体系

- ◇基本研修 …該当者全員を対象とする、初任期育成研修及び中堅教諭等資質向上研修
- ◇専門研修 …専門的力量的の向上をねらいとして行う研修（職能別研修を含む。）
- ◇指導者養成研修 …各学校や地域における指導者を養成することを目的とした研修
- ◇中核職員養成研修…各学校や地域で中核となる教員及び事務職員を養成することを目的とした研修

4 研修講座の分野と主な観点

各研修講座は、以下の 4 分野を、指標に定める主な観点到に分類しています（基本研修を除く。）。

分野	主な観点
教科（事務職員は実務）	学習指導
領域等	基本的資質能力、人権、京都ならではの教育
コミュニケーション能力	生徒指導
チームマネジメント能力	マネジメント、チーム学校

5 研修年次に応じて求められる履修単位数

規定された研修年次に必要な単位数の講座を受講してください。

- (1) 必修講座の履修単位数

ア 初任期育成研修【基本研修】

受講対象者	初任者・ 新規採用者研修	ステップアップ研修	
		新規採用者 令和 6 年度実施	2 年目教員 令和 7 年度実施
小学校、中学校、義務教育学校、府立学校の教諭	20 単位	—	8 単位
幼稚園教諭、保育教諭	11 単位	—	—
養護教諭、栄養教諭・学校栄養職員	16 単位	—	—
実習教諭・実習助手、寄宿舎指導員	9 単位	3 単位	—
事務職員	8 単位	—	—
学校図書館司書	7 単位	—	—
学校施設管理職員	9 単位	—	—

イ 中堅教諭等資質向上研修【基本研修】

「中堅教諭等資質向上研修講座（P. 35）」を参照してください。

(2) 選択講座の履修単位数

対象年期	履修単位数	頁
2～6年目	5単位：「2～6年目研修講座」を参照	31～32
7～15年目	9単位：「7～15年目研修講座」を参照	33～34
16年目以降	各分野・観点からできるだけ偏りなく選択し、計画的に受講	—

6 単位制履修制度早分かり表（教諭の場合）

教諭の生涯にわたる標準的な単位数は**60単位**としています。この単位数には、国、京都府教育委員会、教育局、市町（組合）教育委員会実施の研修の一部を単位として認定するものも含まれます。

※今後の教育を取り巻く環境・状況の変化に伴い、単位数を変更する場合があります。

必修		年	年期	標準的な単位 ※1
初任期	初任者研修	20単位	1	—
育成研修	2年目教員ステップアップ研修	8単位	2	2～6年目 ※2
			3	
			4	
			5	
			6	
			7	7～15年目 ※3
			8	
			9	
			10	
			11	
			12	16年目以降
			13	
			14	
			15	
			16	
			17	13単位
			・ ○各分野・観点から偏りなく、計画的に受講すること	
	○管理職、主幹教諭、指導教諭等は職能に応じて受講すること。			指導的力量向上に向けた標準的な単位
		33単位		27単位

※1…「標準的な単位」は、選択講座等の履修単位数の合計

（研修履歴一覧表の「研修等履修状況」に記載）

※2…「2～6年目研修講座（P. 31～32）」を参照

※3…「7～15年目研修講座（P. 33～34）」を参照

※4…「中堅教諭等資質向上研修講座（P. 35）」を参照

7 事務職員のキャリアステージに応じて求められる単位数と履修内容

規定されたキャリアステージに在位中に必要な単位数の講座を受講してください。事務職員の選択講座等については、「研修講座情報一覧（日付順）（P. 38～52）」を参照してください。

(1) 主事

講座種別	履修単位数
必修	主事1級在位中に 4単位 を受講 ※新規採用者研修の必修講座8単位を取得していれば、履修したものとする。
指定	指定講座の中から主事2級在位中に 1単位 を受講
選択	選択講座の中から主事在位中に 6単位 を受講

(2) 主任

講座種別	履修単位数
指定	指定講座の中から主任在位中に 3単位 を受講 主任：1単位、主任（係長相当職）：2単位
選択	選択講座の中から主任在位中に、各分野・観点からできるだけ偏りなく 4単位 を受講
<p>※推薦により、次の講座を受講した場合、チームマネジメント能力の2単位として選択講座の受講単位数に充当します。2単位を超えた場合は「総単位数」に充当します（P. 170を参照）。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> ・ミドルリーダー養成講座シリーズⅠ・Ⅱ・Ⅲ </div>	

(3) 事務主任・専門幹

講座種別	履修単位数
選択	選択講座の中から事務主任・専門幹在位中に、各分野・観点からできるだけ偏りなく 8単位 を受講

(4) 指定講座一覧

内容等については、各研修講座の実施概要を参照してください。

※指定講座として次の講座を受講する場合は、指定講座申込番号831～841で申込をしてください。

講座番号欄に記載の講座番号で申込をした場合は、選択講座となります。

指定講座 申込番号	講座名 (副題を除く)	講座 番号	主事 2級	主任	主任 (係長相当職)
831	コミュニケーション講座	304	指定	指定	指定
832	教職員のメンタルヘルス講座	314	/	/	指定
833	スクールソーシャルワーク講座	351	指定	指定	指定
834	人権教育講座Ⅰ	352	指定	指定	指定
835	人権教育講座Ⅱ	353	指定	指定	指定
836	図書館教育講座	428	/	指定	指定
837	多様な顧客対応講座（企業連携）	551	/	指定	指定
838	学校事務職員スキルアップ講座	752	指定	指定	指定
839	学校事務職員パワーアップ講座	753	指定	指定	指定
840	学校事務職員（主事）講座	754	指定	/	/
841	学校事務職員（主任）講座	755	/	指定	指定

8 単位制履修制度早分かり表（事務職員の場合）

事務職員の生涯にわたる標準的な単位数は**30単位**としています。この単位数には、国、京都府教育委員会、教育局、市町（組合）教育委員会実施の研修の一部を単位として認定するものも含まれます。

※今後の教育を取り巻く環境・状況の変化に伴い、単位数を変更する場合があります。

標準職務上の職位	職務の級	職名	キャリアステージ	必修・指定	選択及び標準的な単位
	1級	主事	新規採用者	8単位	6単位
	2級		主事	(4単位) ※	
				1単位	
主任	3級	主任	主任	1単位	4単位
係長		主任 (係長相当職)		2単位	
困難係長	4級	事務主任	事務主任 ・ 専門幹		8単位 指導的力量向上に向けた標準的な単位
課長補佐					
困難課長補佐	5級	専門幹			
○事務長は職能に応じて受講すること。				12単位	18単位

※…新規採用者研修の必修講座8単位を取得していれば、履修したものとする。

2～6年目研修講座

1 受講対象者

小学校、中学校、義務教育学校、府立学校の2～6年目の教諭、養護教諭、栄養教諭・学校栄養職員、実習教諭・実習助手、寄宿舎指導員 等

2 受講講座と受講単位数

受講対象者	2年目	2～6年目	合計
	必修	選択	
小学校、中学校、義務教育学校、府立学校の教諭	8単位	5単位	13単位
小学校、中学校、義務教育学校、府立学校の養護教諭、栄養教諭・学校栄養職員、実習教諭・実習助手、寄宿舎指導員 等		4単位	4単位

必修 (講座ごとの申込は不要)

小学校、中学校、義務教育学校、府立学校の教諭は、以下の**8単位**を2年目に必ず受講してください。

講座名	単位数
2年目教員「ステップアップ1～3」講座	3単位
2年目教員「テーマ研修」	5単位

※年度当初、該当校に要項を別途送付します。講座ごとの受講申込は不要です。

選択 (要申込)

2～6年目に受講してください。

選択講座に該当する講座は、**選択講座一覧表**を参照してください。
また、研修講座の実施概要では、「ステージ」の欄に、右のアイコンを表示しています(「研修講座の実施概要の見方(P. 69～70)」を参照)。

ステージ
I (選択)

ステージ
I (選択)

※推薦等により、次の講座を受講した場合、分野(観点)欄に記載の分野の2単位として**選択**講座の受講単位数に充当できます。2単位を超えた分は「総単位数」に充当されます(P. 169を参照)。

講座名	分野(観点)
小学校理科授業力向上講座シリーズI・II・III	教科(学習指導)

3 選択講座一覧表

次の一覧表を参照してください。なお、受講対象校種及び内容等については、「各研修講座の実施概要(P. 114～173)」を参照してください。

No	講座名	No	講座名
【教科】			
401	小学校国語科教育講座～国語科における学習過程とICT活用～	406	小中算数科・数学科教育講座～小中9年間の見通しとICTの有効な活用法を学ぶ～
402	中高国語科教育講座～単元構想とICTの有効な活用法を学ぶ～	407	高等学校数学科教育講座～数学的な活動を通して思考を深める授業を考える～
403	小中社会科教育講座I～新たな学びから考える授業構想～	408	小学校実技どんとこい!理科&家庭科講座
404	小中社会科教育講座II～新たな学びから考える授業構想～	409	小中学校理科授業づくり講座【授業構想編】～小中のつなぎとICT活用を意識して～
405	中高社会科・地理歴史科・公民科教育講座～これからの授業実践と単元構想(地理・歴史・公民)～	410	小中学校理科授業づくり講座【実践振り返り編】～小中のつなぎとICT活用を意識して～

No	講座名	No	講座名
【教 科】			
411	高等学校理科実験講座	425	幼児教育と小学校教育の架け橋講座
413	幼小特支「図画工作科講座」～絵や立体、工作の指導とICT活用～	428	図書館教育講座～探究学習を支える学習・情報センターとしての在り方～
414	小学校実技どんとこい！「歌唱・器楽×工作」音楽科&図画工作科講座	429	小中連携プログラミング教育講座
415	「表現と鑑賞をつなげて深める伝統音楽」講座～尺八基礎実技～	430	中高連携プログラミング教育講座
416	中高音楽実技「能の連吟を楽しもう・お囃子を創ろう」講座	431	新時代の学びを支えるICT教育講座
417	中高美術講座～日本美術（屏風）鑑賞～	432	最新ICT動向講座～Society5.0社会を学ぶ～
418	中学校技術基礎講座～授業づくりの基礎と基本～	433	教育におけるAI活用講座
419	小学校家庭科講座～子どもの「やってみたい」を引き出す授業づくり～	434	授業に生かすファシリテーション講座
420	中高家庭科講座～ICTを活用した協働的な学びにつながる授業づくり～	435	地球環境学講座
421	小中外国語教育講座～校種間連携を視野に入れた言語活動の在り方～	436	はじめての特別支援学級・通級による指導講座
422	中高外国語科教育講座～The Road to Teaching in English～	437	肢体不自由のある児童生徒の授業づくり講座～コミュニケーションを豊かにする支援技術（AT）とICT活用～
423	道徳科の授業実践力向上講座	438	授業参観講座～盲学校の実践に学ぶ、見えにくさのある児童生徒の授業づくり～
424	総合的な学習の時間・総合的な探究の時間講座～個別最適な学びと協働的な学びの充実を目指して～	439	特別支援学校の授業づくり講座～知的障害教育、教科の視点と学習評価～
【領域等】			
301	ビジネスマナー講座（企業連携）	351	スクールソーシャルワーク講座
302	多忙化への対応とセルフマネジメント講座（企業連携）	352	人権教育講座Ⅰ～同和問題を考える～
303	企画提案・プレゼンテーション講座（企業連携）	353	人権教育講座Ⅱ～外国にルーツをもつ子どもへの支援～
304	コミュニケーション講座～円滑な人間関係の構築と職場内チームワークの向上～	354	子どもの貧困と学習支援講座
314	教職員のメンタルヘルス講座	601	地域教材を活かした授業づくり講座Ⅰ～山城郷土資料館で学ぶ～
318	探究的な学び講座シリーズⅠ	602	地域教材を活かした授業づくり講座Ⅱ～丹後郷土資料館で学ぶ～
319	探究的な学び講座シリーズⅡ	651	養護教諭講座～非認知スキルと健康～
320	探究的な学び講座シリーズⅢ	701	栄養教諭・学校栄養職員講座
【コミュニケーション能力】			
451	情報モラル・デジタルシティズンシップ教育講座Ⅰ	460	京都教育大学サテライト講座 発達障害のある児童生徒理解～通常の学級におけるアセスメントと支援の在り方～
452	情報モラル・デジタルシティズンシップ教育講座Ⅱ	461	高校卒業後につながる発達障害のある児童生徒の支援の在り方講座～各ライフステージを見据えた教育的支援とは～
453	特別活動講座～よりよく合意形成を図る話し合い活動を目指して～	462	「今を生きる子どものこころ」講座～いのちに向き合う～
454	学級・ホームルーム経営講座～これからの学級・ホームルーム経営に向けて～	463	学校における教育相談講座【領域①②③】
455	キャリア教育講座～探究心の育成を目指して～	464	教育相談ミニ講座～日々の学校生活を支える教育相談～【領域①②③】
456	生徒指導講座～これからの生徒指導の方向性～	465	教育相談＜初級＞講座～児童生徒理解と関わり～【領域①②③】（センター）
457	はじめての特別支援教育コーディネーター講座	466	教育相談＜初級＞講座～児童生徒理解と関わり～【領域①②③】（北部）
459	児童生徒の学びを支える自立活動講座～的確な実態把握、児童生徒の困難さの背景を読み取る視点を研く～		
【チームマネジメント能力】			
501	道徳教育の推進講座	552	特別支援教育の視点を活かした校内組織づくり講座～校内支援体制の構築と特別支援教育コーディネーターの役割・連携～
551	多様な顧客対応講座（企業連携）		

7～15年目研修講座

1 受講対象者

小学校、中学校、義務教育学校、府立学校の7～15年目の教諭、養護教諭、栄養教諭・学校栄養職員、実習教諭・実習助手、寄宿舎指導員 等

2 受講講座の受講単位数

受講対象者	単位数
小学校、中学校、義務教育学校、府立学校の教諭	9単位
小学校、中学校、義務教育学校、府立学校の養護教諭、栄養教諭・学校栄養職員	7単位
小学校、中学校、義務教育学校、府立学校の実習教諭・実習助手、寄宿舎指導員 等	5単位

選 択 (要申込)

7～15年目に受講してください。

選択講座に該当する講座は、**選択講座一覧表**を参照してください。
また、研修講座の実施概要では、「ステージ」の欄に、右のアイコンを表示しています（「研修講座の実施概要の見方（P. 69～70）」を参照）。

ステージ
2(選択)

ステージ
2(選択)

※推薦等により、次の講座を受講した場合、分野（観点）欄に記載の分野の2単位として**選択**講座の受講単位数に充当できます。2単位を超えた分は「総単位数」に充当されます（P. 169～170を参照）。

講座名	分野（観点）
小学校理科授業力向上講座シリーズⅠ・Ⅱ・Ⅲ	教科（学習指導）
ミドルリーダー養成講座シリーズⅠ・Ⅱ・Ⅲ	チームマネジメント能力（マネジメント）

3 選択講座一覧表

次の一覧表を参照してください。なお、受講対象校種及び内容等については、「各研修講座の実施概要（P. 114～173）」を参照してください。

No	講座名	No	講座名
【教 科】			
401	小学校国語科教育講座～国語科における学習過程とICT活用～	414	小学校実技どんとこい！「歌唱・器楽×工作」音楽科&図画工作科講座
402	中高国語科教育講座～単元構想とICTの有効な活用法を学ぶ～	415	「表現と鑑賞をつなげて深める伝統音楽」講座～尺八基礎実技～
403	小中社会科教育講座Ⅰ～新たな学びから考える授業構想～	416	中高音楽実技「能の連吟を楽しもう・お囃子を創ろう」講座
404	小中社会科教育講座Ⅱ～新たな学びから考える授業構想～	417	中高美術講座～日本美術（屏風）鑑賞～
405	中高社会科・地理歴史科・公民科教育講座～これからの授業実践と単元構想（地理・歴史・公民）～	418	中学校技術基礎講座～授業づくりの基礎と基本～
406	小中算数科・数学科教育講座～小中9年間の見通しとICTの有効な活用法を学ぶ～	419	小学校家庭科講座～子どもの「やってみたい」を引き出す授業づくり～
407	高等学校数学科教育講座～数学的な活動を通して思考を深める授業を考える～	420	中高家庭科講座～ICTを活用した協働的な学びにつながる授業づくり～
408	小学校実技どんとこい！理科&家庭科講座	421	小中外国語教育講座～校種間連携を視野に入れた言語活動の在り方～
409	小中学校理科授業づくり講座【授業構想編】～小中のつなぎとICT活用を意識して～	422	中高外国語科教育講座～The Road to Teaching in English～
410	小中学校理科授業づくり講座【実践振り返り編】～小中のつなぎとICT活用を意識して～	423	道徳科の授業実践力向上講座
411	高等学校理科実験講座	424	総合的な学習の時間・総合的な探究の時間講座～個別最適な学びと協働的な学びの充実を目指して～
412	最先端科学から学ぶ講座	425	幼児教育と小学校教育の架け橋講座
413	幼小特支「図画工作科講座」～絵や立体、工作の指導とICT活用～	426	育ちと学びをつなぐ幼児教育&生活科講座～幼児教育を踏まえた小学校教育の工夫を目指して～

No	講座名	No	講座名
【教科】			
427	全国学力・学習状況調査活用講座	434	授業に生かすファシリテーション講座
428	図書館教育講座～探究学習を支える学習・情報センターとしての在り方～	435	地球環境学講座
429	小中連携プログラミング教育講座	436	はじめての特別支援学級・通級による指導講座
430	中高連携プログラミング教育講座	437	肢体不自由のある児童生徒の授業づくり講座～コミュニケーションを豊かにする支援技術（AT）とICT活用～
431	新時代の学びを支えるICT教育講座	438	授業参観講座～盲学校の実践に学ぶ、見えにくさのある児童生徒の授業づくり～
432	最新ICT動向講座～Society5.0社会を学ぶ～	439	特別支援学校の授業づくり講座～知的障害教育、教科の視点と学習評価～
433	教育におけるAI活用講座		
【領域等】			
301	ビジネスマナー講座（企業連携）	351	スクールソーシャルワーク講座
302	多忙化への対応とセルフマネジメント講座（企業連携）	352	人権教育講座Ⅰ～同和問題を考える～
303	企画提案・プレゼンテーション講座（企業連携）	353	人権教育講座Ⅱ～外国にルーツをもつ子どもへの支援～
304	コミュニケーション講座～円滑な人間関係の構築と職場内チームワークの向上～	354	子どもの貧困と学習支援講座
314	教職員のメンタルヘルス講座	601	地域教材を活かした授業づくり講座Ⅰ～山城郷土資料館で学ぶ～
318	探究的な学び講座シリーズⅠ	602	地域教材を活かした授業づくり講座Ⅱ～丹後郷土資料館で学ぶ～
319	探究的な学び講座シリーズⅡ	651	養護教諭講座～非認知スキルと健康～
320	探究的な学び講座シリーズⅢ	701	栄養教諭・学校栄養職員講座
【コミュニケーション能力】			
451	情報モラル・デジタルシティズンシップ教育講座Ⅰ	461	高校卒業後につながる発達障害のある児童生徒の支援の在り方講座～各ライフステージを見据えた教育的支援とは～
452	情報モラル・デジタルシティズンシップ教育講座Ⅱ	462	「今を生きる子どものこころ」講座～いのちに向き合う～
453	特別活動講座～よりよく合意形成を図る話し合い活動を目指して～	463	学校における教育相談講座【領域①②③】
454	学級・ホームルーム経営講座～これからの学級・ホームルーム経営に向けて～	464	教育相談ミニ講座～日々の学校生活を支える教育相談～【領域①②③】
455	キャリア教育講座～探究心の育成を目指して～	465	教育相談＜初級＞講座～児童生徒理解と関わり～【領域①②③】（センター）
456	生徒指導講座～これからの生徒指導の方向性～	466	教育相談＜初級＞講座～児童生徒理解と関わり～【領域①②③】（北部）
457	はじめての特別支援教育コーディネーター講座	467	教育相談＜中級＞講座Ⅰ～子どもの心情をありのままに理解し、支援する～【領域①】
459	児童生徒の学びを支える自立活動講座～的確な実態把握、児童生徒の困難さの背景を読み取る視点を研く～	468	教育相談＜中級＞講座Ⅱ～医療の視点から不登校を考える～【領域②】
460	京都教育大学サテライト講座 発達障害のある児童生徒理解～通常の学級におけるアセスメントと支援の在り方～	469	教育相談＜上級＞講座Ⅲ～学校で生かすカウンセリング・アプローチ～【領域③】
【チームマネジメント能力】			
501	道徳教育の推進講座	505	校内研修の充実講座Ⅱ～ICTを活用した校内研修～
502	ミドルからはじめるマネジメント講座	551	多様な顧客対応講座（企業連携）
503	ミドルからはじめる学校の特色づくり講座	552	特別支援教育の視点を活かした校内組織づくり講座～校内支援体制の構築と特別支援教育コーディネーターの役割・連携～
504	校内研修の充実講座Ⅰ～ミドルからはじめるカリキュラム・マネジメントの実践～		

※教育相談＜中級＞・＜上級＞講座（講座番号467・468・469）は、受講条件があります。詳細については、「特別支援教育及び教育相談を深く学びたい場合の推奨講座（P. 36）」を参照してください。

中堅教諭等資質向上研修講座

1 受講対象者（別途通知）

幼稚園、こども園、小学校、中学校、義務教育学校、府立学校の中堅教諭等資質向上研修対象となる教諭、養護教諭、栄養教諭・学校栄養職員

2 受講講座

講座		講座番号	実施日 (視聴期間)	研修形態	会場	受講対象
「共通」 講座Ⅰ	a	251	5月31日(金)	オンライン研修	各所属校(園)	受講者番号が奇数の者
	b	252	6月7日(金)	オンライン研修	各所属校(園)	受講者番号が偶数の者
「共通」 講座Ⅱ		253	6月14日(金) ～ 7月26日(金)	オンデマンド研修	各所属校(園)	全員
「共通」 講座Ⅲ	a	254	7月31日(水)	オンライン研修	各所属校(園)	受講者番号が奇数の者
	b	255	8月7日(水)	オンライン研修	各所属校(園)	受講者番号が偶数の者
		集合研修		総合教育センター	対面での受講希望者	
「共通」 講座Ⅳ	a	256	8月19日(月)	オンライン研修	各所属校(園)	受講者番号が奇数の者
	b	257	8月22日(木)	オンライン研修	各所属校(園)	受講者番号が偶数の者
「共通」 講座Ⅴ	a	258	1月21日(火)	オンライン研修	各所属校(園)	受講者番号が奇数の者
	b	259	1月28日(火)	オンライン研修	各所属校(園)	受講者番号が偶数の者

※講座ごとの受講申込は不要です。年度当初の研修計画書提出をもって受講申込完了とします。

※集合研修については、会場の都合等により抽選を行う場合があります。

3 欠席について

(1) やむを得ず欠席する場合は、講座が始まるまでに、管理職から下記へ電話で連絡してください。

市町(組合)立学校 : **地域教育支援部(0773-43-2934)** と **市町(組合)教育委員会**

府立学校(附属中学校含む) : **地域教育支援部(0773-43-2934)**

(2) 法定研修のため、**欠席届(様式2)**を必ず**地域教育支援部(ed-center-chiiki@kyoto-be.ne.jp)**宛てに**電子メールで提出**してください。

4 注意点

中堅教諭等資質向上研修対象者が「共通」講座以外のセンター研修を受講する場合は申込が必要です。その際、研修講座受講申込書(様式1)の教職経験欄は、「7～15年目」を表す「**2**」(半角)を選択してください。

特別支援教育及び教育相談を深く学びたい場合の推奨講座

<特別支援教育>

※問合せ先:特別支援教育部(075-612-2953)

○特別支援教育を深く学びたい方及び特別支援教育コーディネーター育成を兼ねた奨励講座

基礎	アセスメント・見立て	実践
436 はじめての特別支援学級・通級による指導講座	437 肢体不自由のある児童生徒の授業づくり講座～コミュニケーションを豊かにする支援技術(AT)とICT活用～	438 授業参観講座～盲学校の実践に学ぶ、見えにくさのある児童生徒の授業づくり～
439 特別支援学校の授業づくり講座～知的障害教育、教科の視点と学習評価～	★458 小中学校における心理検査から支援を深める講座 ※受講条件あり(下記参照)	461 高校卒業後につながる発達障害のある児童生徒の支援の在り方講座～各ライフステージを見据えた教育的支援とは～
457 はじめての特別支援教育コーディネーター講座 特支Co	460 京都教育大学サテライト講座 発達障害のある児童生徒理解～通常の学級におけるアセスメントと支援の在り方～	552 特別支援教育の視点を活かした校内組織づくり講座～校内支援体制の構築と特別支援教育コーディネーターの役割・連携～ 特支Co
459 児童生徒の学びを支える自立活動講座 ～的確な実態把握、児童生徒の困難さの背景を読み取る視点を研く～		

※上記の研修講座は研修講座の指標やステージを参考に、担当業務(特別支援教育コーディネーター、通級指導教室等)や各自の研修ニーズに合わせて受講してください。
 ※★458講座は、小学校、中学校、義務教育学校において、教育支援委員会等でその業務に当たる等心理検査経験者を対象とします(ただし、R5年度受講者は除く。)

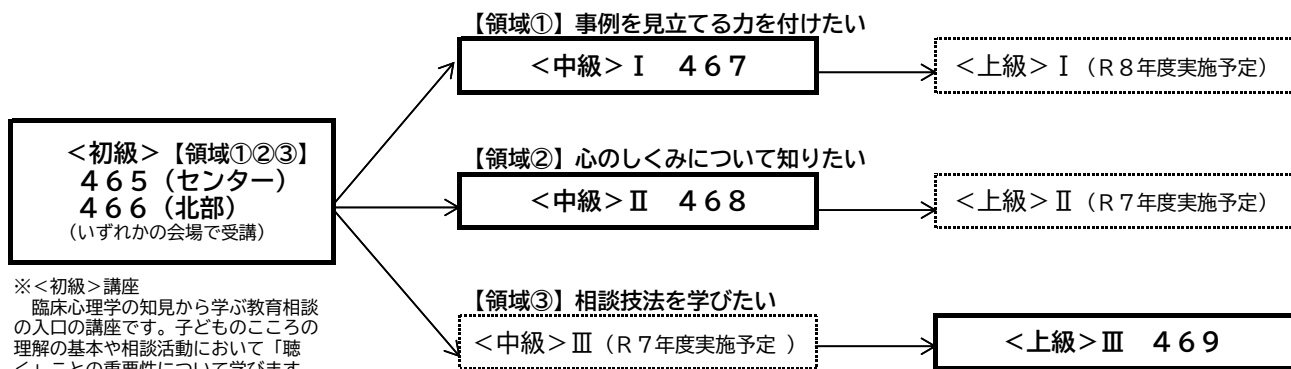
<教育相談>

※問合せ先:教育相談部(075-612-2959)

○教育相談について深く学びたい場合の推奨講座



○ニーズに合わせて教育相談を学びたい場合の推奨講座



※<初級>講座
臨床心理学の知見から学ぶ教育相談の入口の講座です。子どものこころの理解の基本や相談活動において「聴く」ことの重要性について学びます。

<中級・上級講座の受講条件> ※次の(1)、(2)のどちらかに該当すること。

- (1) 「初級」講座を受講した者
- (2) 教育相談を学ぶ意欲が高い者や、校内の教育相談を推進する者

* 「教育相談講座受講カード」については、令和5年度末をもって終了しました。
(これまでの研修履歴は受講管理システムの「研修履歴一覧表」で確認することができます。)